

# 西中だより

平成27年度 No.13  
平成27年 9月11日  
須賀川市立西袋中学校  
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 中間テストに向けて（勉強の極意は部活動にあり）&&&

- 先日1年生・2年生・3年生の学習委員が作成した「中間テスト予想問題」が1冊ずつ届きました。さっそく表紙をめくると最初は数学の問題で、次に理科の問題が、そして音楽と続きます。これを見て、遠い昔を思い浮かべました。最初の頃は、勉強の仕方（計画の段階）が分からず、何を、どのように準備してよいのか創造もできませんでした。結果は、惨敗です。（予想した点数が取れなかった。）
- それから、部活動の先輩や友達の話真剣に聞くようにしました。「A先生は、図を書かせる」「B先生は、ひねった問題が好き」「英語のC先生は、カッコに単語を入れる問題をよく出す」など、大切な話が飛び交っていました。それらを勉強に役立てたものです。また、成績がよい友達が自分の勉強法を紹介してくれました。「試験の○日前から、復習・予習を始める」「例題の問題だけを見て、解き方をノートに書いてから教科書で確認する」「英語は、最初意味は調べないで声を出して何回も読む。読んで分からない部分の単語を辞書で調べる」など。
- さて、成果をあげるのに近道がないことは、部活動で体験済みですね。力は我慢と繰り返しと継続で身につくものです。辞書をひいたり、指にペンだこができるくらい書いたりする勉強法は昔から学習の基本とされています。部活動で日頃がんばっている君達だから可能であると私は思います。辞書を手あかがつくくらい活用して、答えを自分で見つけ出す学習を行ってください。

# \$ # 特設合唱部がTBCこども音楽コンクールで東北大会出場を獲得！ # \$ #

- 8月30日（日）の夕方のことでした。バスから降りてきた49名の生徒が整列して、部長さんの号令で帰校の挨拶をした後に、部長さんから「東北大会出場が決定」という知らせを部員全員に知らせた瞬間でした。「やったあ！」という歓喜の声が湧き上がりました。

思い起こせば8月20日の岩瀬地区合唱際では、金賞を受賞しましたが東北大会へ出場する権利は得られませんでした。しかし、顧問の佐藤浩巳先生をはじめ部員達は、誰一人それを否定的に受け止める者はいませんでした。みんな素直に「金賞」受賞を心から喜んでいたので。<7日（月）に須賀川市教委の柳沼教育長さんに出場の報告へ行ってきました。>



【出場報告の写真】

- 「特設合唱部」とは、部員の一人一人が所属する部活動以外に合唱を行う部活のことです。当然負担は2倍にも3倍にもなります。特に、夏休みは大変な苦労があったと推察します。例えば、3年生のある男子は「所属する野球部では民報杯で活躍し」「夏休みは朝から駅伝練習に、その後特設合唱部の練習に」という具合です。・・・10月17日郡山文化センターで開催される東北大会では、素晴らしい歌声をホールいっぱいに響かせてくれることを期待します。

◆◆◆ 今、学校は生徒会役員選挙に向けた運動で盛り上がっています ◆◆◆

- 1・2年生を中心とした役員への立候補者が、毎朝生徒の昇降口前で選挙運動を行っています。白い襷をかけて、自分の名前と公約を大きな声で登校してくる生徒に向かって叫んでいます。11日には立会演説会と信任・決戦投票が行われます。（どのような生徒会になるのか、非常に楽しみです。）

< 役職と立候補者の紹介 >

- ・「会長」溝井元輝（2-3） ・「副会長」清水天斗（2-2）、磯谷壮樹（1-1）渡邊愛美（1-2）伊藤 啓（1-3） ・「書記」遠藤 涼（2-3）、関根里夏（1-1）磯貝樹里（1-2）
- ・「会計」羽生亮太（2-1）、齋藤 茜（1-2）

《 校長のつぶやき 》 ・・・・「生徒会に期待すること」・・・

- 意図的に汗をかく活動を大切にしてほしい。（掃除、自転車・徒歩での登校、雑巾がけ、など）
- 専門委員会の活動を積極的に工夫してやってほしい。（もっと積極的に図書館を活用するには。落葉はきなど季節に応じた清掃活動を提案しては。放送委員は、歳時記を利用して季節感を出しては。）
- アイディアが浮かんだら、担当の先生に相談し、失敗を恐れず何事にも挑戦してください。

